



校 訓「健康にして徳性高き人」

学校教育目標「豊かな心と志を持ち主体的に学ぶ生徒の育成」

【令和8年度学校スローガン】

挑戦をはじめた瞬間から可能性は^{ゼロ}0じゃなくなる。

第9号 令和8年6月30日 文 責：校長 [Redacted]



■市中総体感動をありがとう！

6月6日（土）のソフトテニス競技団体戦を皮切りに、13日（土）、14日（日）に南島原市中学校総合体育大会が実施されました。私も各競技を応援に行かせていただきましたが、西中生の活躍、頑張り、に元気と感動をいただきました。保護者の皆様には、休日にもかかわらず生徒たちに多くの声援をいただきありがとうございました。

【バレーボール】

- ・女子 優勝（県大会出場）

【バスケットボール】

- ・男子 優勝 深江中（拠点校）
- ・女子 リーグ2位

【ソフトテニス】

- ・男子団体 予選リーグ2敗
- ・女子団体 総当たりリーグ2勝2敗
- 個人戦 3位 [Redacted] ペア

【陸上競技】（県大会出場者）

男子共通

- ・200m 2位 [Redacted]
- ・800m 1位 [Redacted]、2位 [Redacted]
- ・3000m 1位 [Redacted]
- ・4×100mR 1位 西有家中（[Redacted]）

男子3年

- ・100m 1位 [Redacted]
- ・1500m 1位 [Redacted]

男子2年

- ・100m 1位 [Redacted]、2位 [Redacted]
- ・1500m 2位 [Redacted]
- ・4×100mR 2位 西有家中（[Redacted]）

男子1年

- ・1500m 1位 [Redacted]

女子共通

- ・走高跳 2位 [Redacted]
- ・砲丸投 1位 [Redacted]

女子2年

- 800m 2位 [Redacted]

女子1年

- 800m 1位 [Redacted]

【県大会会場】

- ・バレーボール：長崎県立総合体育館 or 長崎市民体育館
- ・バスケットボール：佐世保市体育文化館 or 佐世保市東部スポーツ広場体育館
- ・陸上：トランス・コスモススタジアム長崎

7月25日（土）から27日（月）に実施される県中総体に出場する生徒の皆さんは、西有家中学校の代表としてだけでなく、南島原市の代表として出場することになります。万全の準備をして頑張ってきてほしいと願っています。

■「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を実施しました！

6月18日（木）から24日（水）に「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を実施いたしました。期間中、保護者の皆様はじめ、多くの方々に来校していただきました。ありがとうございました。

18日にはメディア講演会で身体と心のコンディショニング施設「THANKS」代表、杉野伸治先生をお招きし、スマートフォン等のメディアやSNSとの付き合い方を学びました。期間中、民生委員さんをはじめ、地域の方々から西中生の授業のようすや生活態度について、多くのお褒めの言葉をいただきました。

R08 長崎っ子の心を見つめる教育週間校長講話

今日から24日（水）までの1週間は長崎っ子の心を見つめる教育週間です。

さて、長崎県では、ほとんどの学校がこの時期に、「命の大切さ」や「人を思いやることの大切さ」、そして「夢やあこがれ、将来への志を持つこと」等について、普段以上に語ったり、考えたりする取組を設定しています。

何故、このような取組が生まれたのか知っていますか？

実は、20年以上前に長崎市で、4歳の幼稚園児を中1の男子生徒が駐車場の最上階から落とすという殺人事件がありました。翌年には、佐世保市で小6の女子児童が同級生をカッターナイフで殺害するという事件が起きました。2度とこのような事件は起きないようにと始まったのが、長崎っ子の心を見つめる教育週間です。しかし、その10年後には、佐世保市で高校生が同級生を殺害するという事件もありました…。

この1週間に、私が皆さんにお願いしたいのは、かけがえのない自分の命、周りのお友達の命の大切さについて真剣に考える期間にしてほしいということです。

現在、世界中でも戦争やテロで、多くの人が死んだり、家族をなくしたりしています。日本でも、毎日のように事件や事故で命を失うなど、悲しい事件や事故が起っています。それらに似たようなことで、みなさんの身近なことでは、友達への悪口やいじめ、差別・・・といったことがあります。

私もあなたも、かけがえのない命をもっていて、その人なりに精一杯生きています。

ですから自分を大切にすることはもちろんですが、同時に他の人の命や他の人の気持ちも大切にしていかなければなりません。自分の命や体を大事にすると同時に、友達や周りの人のことも大事にしていってほしいと思います。人間としての本当の強さは「優しさ」です。人を許す心です。

いじめはどんな理由があろうと絶対にしてはいけません。いじめてよいという理由は絶対にありません。

今から熊本県の小学校3年生の女の子が書いた「とびばこ」という作文を読みます。

「私は、体育の時間が好きではありません。なぜかという走りのも速くないし跳び箱や鉄棒や一輪車も、ほかの友達にはできるのに、私だけできないのです。それに、失敗してみんなから笑われるのが悔しくていやだからです。今日の体育は跳び箱です。準備体操をして、みんな、跳び箱の用意を始めました。私はもう、逃げ出したい気持ちでいっぱいです。用意ができました。真一郎君から、次々に跳び始めました。いよいよ私の番です。ときどきしながら跳んでみると、やっぱり失敗しました。2回目も失敗してしまいました。3回目は、友達の跳び方を見て、さっきとちがう跳び方をしてみました。…だけど、やっぱり跳べませんでした。何回跳んでもお尻が跳び箱の角に当たってしまいます。初めは小さく聞こえていた笑い声が、どんどん大きく聞こえてきました。

そのとき、「笑うな！」

と、大きな声が聞こえました。和馬君です。体育館が一瞬シーンと静かになりました。私もびっくりしました。しばらくすると、「笑ってごめん」とか「がんばれ、がんばれ」「もっと勢いをつけると跳べるよ」と言うみんなの声が聞こえてきました。

私は思いっきり走りしました。そして、手を強くつかしました。身体が高く浮いたと思ったその時、私は跳び箱を越えていました。やったあ、とうとうできたんだ。夢じゃないんだ。跳べたんだ。私はとても信じられませんでした。みんなの拍手が聞こえてきました。」

…というお話です。

あなたは笑う人ですか？

「笑うな」と言う人ですか？

「がんばれ！」と応援する人ですか？

今年度の生徒会スローガンは、「笑顔を結ぶ～仲間とともに～」ですよね。あなたはもちろん、西中生全員、誰一人残らず「笑顔」になれる学校にしていきたいと思います。

あなたは、どう「動」きますか？